

きよさと 組合だより

JA 清里町

No.330



7月31日からきたほなみの収穫が開始されました。
今年は初日から好天に恵まれ、また子実が充実しており、出来秋が期待できそうです。

2014年

8

平成26年

『雨天の中でも、好プレー続出!』



去る7月23日、清里町のうきょう年金友の会（石川頼明会長）は緑ヶ丘公園において、平成26年度夏季レクリエーション「パークゴルフ大会」を開催しました。

朝から雨がポツポツ降るあいにくの天気ではありましたが、今年の参加人数は63歳から90歳までの65名となり、雨にも負けず会員の皆さんのパワフルかつセンス溢れるプレーが繰り広げられました。18チームがそれぞれのコースからゲームを開始し、楽しく会話もはずみ、親睦を深めながらも日頃の練習の成果を發揮しようと皆さんの意気込みが感じられました。

見事ホールインワンを獲得したのは2名の方でチーム内で歓声があがり、周りのチームの皆さんも拍手を送っていました。

ゲーム終了後、緑清荘にて懇親会が開催され、成績発表を行いました。大いに盛り上がりを見せていました。

もくじ

清里町のうきょう年金友の会

パークゴルフ大会 …… 2

第43回青年部ソフトボール大会 …… 4

第13回女性部スポーツレクリエーション …… 5

ホクレン中斜里区域内

てん菜振興協議会海外視察研修 …… 6

斜里郡3町玉葱青空教室開催 …… 9

平成25年度北見管内乳質改善対象
乳質選抜条件大賞受賞 …… 9

肥料の基礎知識内部研修会 …… 9

平成26年度女性部視察研修 …… 10

そば生産組合道内視察研修 …… 11

清里町のうきょう年金友の会通常総会 …… 11

わさび生産組合道外視察研修 …… 12

第2回秋まき小麦青空教室 …… 12

ホクレンくるるの杜inオホーツクフェア …… 13

平成26年度第1回目の廃プラ回収 …… 13

健康特集 家族が認知症になったら …… 14

理事会の経過をお知らせ致します …… 16

ご結婚おめでとう …… 17

組合員状況 …… 17

平成26年度フレッシュユミス視察研修 …… 18

フレッシュユミス部夏期学習会 …… 18

スポーツ交流会 …… 19

健康百科 …… 19

食のはなし トウモロコシ …… 20



♣ **優勝**
 男性部門 田中 博光さん 打数45
 女性部門 谷澤子工子さん 打数51
 ♣ **準優勝**
 男性部門 浜口 隆保さん 打数48
 女性部門 近藤八重子さん 打数52
 ♣ **3位**
 男性部門 岡本 年行さん 打数50
 女性部門 大平恵美子さん 打数52
 (同打数の場合は年齢により順位を決めています。)



清里町農協青年部

第43回ソフトボール大会



去る6月19日午前7時より、清里町農協青年部（大町敏隆部長）主催のソフトボール大会が、清里町民グラウンドに於いて開催されました。

各支部青年部チームの他、営農集団長・ホクレン・農業委員会・農民連盟・農協役職員チームの10チーム142名が参加しました。

当日は曇天で小雨が降り肌寒い中での試合開始となりましたが、選手の皆さんは気合溢れるハツラツとしたプレーで寒さを感じさせず、好プレーや珍プレーが続出し、熱い戦いが繰り広げられました。

今年は清里南Aチーム（佐々木謙一監督）対上斜里Aチーム（湯浅隆司監督）での決勝戦となりました。結果は激闘の末、見事清里



清里南Aチーム2連覇達成!!
寒さも吹き飛ばす熱いプレー続出



南Aチームが2連覇を達成しました。

白熱した大会終了後は懇親会が開催されました。普段は、青年部と関係機関が交流する機会は少ないのですが、懇親会では和気あいあいの中で色々な話に花が咲きました。

ちなみに我等が役職員チームは、居城組合長のハッスルプレイにより3位と大健闘し、4〜5日体の痛い日々が続きました。



“新しい競技に大興奮大盛り上がり”



JA清里町女性部（成戸貴子部長）は6月10日、清里町トレーニングセンターに於いてスポーツレクリエーションを開催致しました。

青チーム（1・3集団）	29名
白チーム（2・9・10集団）	31名
赤チーム（5・7・8集団）	34名
黄チーム（4・6集団）	36名
計4チーム、	130名が参加しました。

今年は人数の減少によりチームを5チームから4チームにしての開催となりました。

今年も女性の元気パワーで始まったスポーツレクリエーションは、第8営農集団の佐藤静子さんが選手宣誓を行いました。

今回初めて競技に取り入れた『マフラーリレー』を来賓の櫛引町長・農民連盟柳谷副委員長・石井専務と一緒に参加していただき、部員たちと交流しました。『マフラーリレー』は首にマフラーを巻いて手を使わずにマフラーをほどき、次の人にマフラーをかけるリレーで、マフラーは長さや重さが異なるものを用意、簡単にできる競技でも盛り上がりました。

他に『何色がお好き』、『風船リレー』が新しい競技に変更になりました。

『何色がお好き』は全員で行う競技で、成戸部長がサイコロを投げて出る色を予想してもらいました。1人だけ選んだ色が見事あった第4営農集団橋恭子さんは MVP賞に選ばれました。

『風船リレー』は2人ペアになり、棒2本で風船を挟んで走る競技ですが、風船が途中で割れることなく、スムーズに運ばれ息の合ったチームプレーが見られました。

他に例年行っている『運は天まかせ』、『玉入れ』、『パン食い競争』、『かぼちゃの収穫』、『坊ちゃん・

嬢ちゃん』が行われ、白熱したプレーが繰り広げられました。

総合結果、優勝したのは黄チーム、2位白チーム、3位青チーム、4位赤チームとなりました。

最後に『じゃがいも踊り』と『清里音頭』を踊り、終了後、各支部で懇親会が行われました。

今回はマンネリ化を防ぐ為、新しい競技を取り入れる為、役員一同、試行錯誤で準備しました。新しい競技は「おもしろい」、「楽しかった」と、とても好評でした。また、今回から女性部に入っていない方にも、お試して参加できるように案内をしました。残念ながら参加してくれた人はいませんでした。女性部では12月に女性部研修会を予定しており、その時にも案内をする事にしています。実際に見てもらって活動を知っていただきたいと思っています。途中からの入部も大歓迎です。不明な点はお気軽に事務局までご連絡下さい。入部をお待ちしています。

ホクレン中斜里区域内てん菜振興協議会海外視察研修

平成26年6月25日～7月4日 ドイツ・オランダ・ベルギー

農協理事 塩澤 一也
 青年部部长 大町 敏隆
 業務部燃料自動車課長 鈴木 隆信
 (10名参加)

ホクレン中斜里区域内てん菜振興協議会の主催による海外視察研修を報告いたします。

●ドイツ① ダルムシュタット地方農家 ホウマン氏

経営は、全耕地面積72ha(内借地56ha)土質は地表から3m位は石がなく地力においても国内では良質レベル。ホウマン氏と奥さん、息子さんの3人体制で営農し、農繁期にはアルバイト雇用。作付け内訳は(カッコ内は収量)、秋まき小麦33ha(15俵/反)秋まき大麦4ha(12.5俵/反)秋まきライ麦7ha(13.3俵/反)馬鈴薯19ha(75俵/反)甜菜9ha(7.5t/反・糖度18～19%)、

輪作は、馬鈴薯↓秋小麦↓秋大麦(秋ライ麦)↓甜菜となっており、麦収穫後は、ナタネ(緑肥キカラシ)を作付けしている。麦の作付けは、9月上旬にリン酸カリ全面散布後、10月中旬に播種。翌3月上旬、4月上旬、5月上旬に窒素の3回追肥が基本施肥となり、生育期間中に随時追肥を行う。また、生育期間中の防除は、1～2回。収穫は、7月下旬～8月上旬に水分約15%で行うが、水分に依り乾燥機を通して個人所有サイロに保管する。馬鈴薯は10種類ほど作付けを行い、窒素・カリを全面散布後、4月上旬に植え付けを行い、7月から順次収穫を行う。防除回数6回。馬鈴薯は、今まで粗原出荷を行っていたが、手取り確保のため、収穫量の30%ほどを病院等へ加工販売している。販売単価は粗原が28円/kgなのに対し、加工後は200円/kg。300kg～500kgを1日に処理している。また、萌芽抑制の処理も行う。甜菜も窒素・カリを全面散布し、3月下旬に直播、除草剤は3回の処理、防除回数は、殺菌剤のみで2

～3回行う。9月～12月にかけて共同機械により収穫を行う。

●ドイツ② ダルムシュタット地方農家 ワーグナー氏

ホウマン氏の取引会社で5つの業種を行っている法人であり、主経営は乗馬馬管理(77頭)。副業として農地90haの営農の他、レストラン経営(ビール製造・販売)、エネルギー事業(ソーラーパネル等で発電、売電)、レンタル事業(土地、家屋)も行う。農地では、小麦、大麦、飼料用麦、菜種を作付けし、5年前までは甜菜も作付けしていたが、補助金制度改正、近隣製糖工場の閉鎖により遠隔地への運賃負担増によつて所得が上らないため、現在は、作付けを行っていない。作付け内容は、小麦25ha(販売用)大麦25ha(ビール製造原料および販売用)飼料用麦(馬飼養用)菜種(バイオ燃料や食用油向け販売用)。麦の作付け比率が多いため菜種を導入しているが、輪作に影響が出るため、甜菜や馬鈴薯の作付けを行っている近隣農家と農地の交換を行う。この法人では麦類作付け

が多いため、GPS搭載コンバインを導入しており、圃場での収穫時には自動操舵によつて収穫される。

●ドイツ③ ダルムシュタット地方兼業農家 マウラー氏

全耕地面積42haのうち、小麦20ha、甜菜6ha、飼料用大麦2ha、菜種2ha、緑肥11ha、体験農地として1ha。マウラー氏1人で営農し、講習スタッフとして女性を週2回ほど雇用。息子さんは会社勤務のかたわら作業を手伝っている。15年前から親子そろつて農業への感心を深める食育を目的



とした体験農場経営によって副収入を得ている。年間来場者は約5千人で入場料は無料。(講習料↓大人5ユーロ・700円、子供3ユーロ・420円)。畑の作付けはほとんどが集団機械の体系となっており、甜菜については直播作業機械(12畦播種)を10軒で保有し、年間200haを管理している。収穫機(6畦堀)は50軒で保有し、オペレーターは50軒の中から10名ほどが昼夜を問わず収穫作業をしている。甜菜の運搬は、300戸集団で40tトラックを50台保有し、製糖業者へ運搬している。集団作業化による収穫時期の反収格差については、価格差によるプレミアを個々に設定。個人作付面積については、製糖会社の意向によって設定されている。この地方には、農協のような様々な組合があり、農家が各組合へ自由に加入し、販売、購買、資金調達を行い、補助金の申請は、個人が行うシステムとなっている。

●オランダ① 農業法人 AGR IPORT A7 ペトラ氏

温室20haを所有する施設園芸農業法人で、2種類のパプリカを栽培している。(オランダでの温室栽培平均面積は2ha) 収穫期には、80名、農閑期は30名ほどの雇用



(アルバイト)をしているが、オランダ国内の高い失業率8%により人材確保には苦労しない。

6年前まで別の土地で経営を行ってきたが、今回47haの農地を購入したことで、温室の面積拡大を行っていく予定。温室栽培にはガス発電機を使用し、発生した熱を温室へ送り保温、二酸化炭素を温室へ送り作物の光合成に使用している。発生した電気は、自家消費と売電をしている。経営コストでは、ガス代金が必要な費用となっている。また、これまでの投資に対する国の補助がないため、今後のエネルギー投資については、ガス料金

に左右されず導入時に国の補助金制度がある地熱発電の利用を検討している。温室は建設するために設備費込みで200万ユーロ/ha(2・8億円)かかるが、国からの補助金は一切なく、施設費の回収には約15年を要する。

パプリカの栽培は12月に購入苗を植え付けし3月から11月まで収穫ができ、外にある貯水タンクより灌水、液肥注入を行い、作物の土の代わりにグラスウール状のスポンジに購入した苗を植え付ける。灌水を行った後の廃液は、屋内にある砂入りの貯水タンクへ回収し、中の砂により浄化されて灌水等に再利用する。収穫量等は30kg/m²、1ユーロ/kgであり、年間、約800万ユーロ/年(11億円)の売り上げがある。

●オランダ② ニューフィゲッツ地方農家 クークホーフェン氏

農地を3カ所に100ha所有し、作業を全委託(コントラ)している。作物は、麦43ha(16・7俵/反) 甜菜17ha(8t/反、糖分18%) 馬鈴薯17ha(83・3俵/反) 牧草種子他23haを作付け。甜菜は3月に播種(直播)、11月に収穫を行い、収穫物の半分を11月と残り半分を翌年1月に出荷している。1月出荷の甜菜については、

11月15日までに収穫を行い、生産者敷地内にて凍結防止ポリシートを被せて保管する。栽培に関わる営農情報は糖業者より提供があり、ここ10年間で品種変更によって産糖量が4割ほど増加した。栽培については、畝間50cm株間19cm、9千本/反を株立てし、肥料は窒素15kg/反、リン酸10kg/反、カリ15kg/反、除草剤は2回、殺虫剤0回、殺菌剤3回、水量30リットル/反を50m幅スプレーヤーで散布する。収穫は、6畦自走ハーベスターにより収穫を行う。甜菜の所得は、500ユーロ(約7万円)/反(品代)と25ユーロ(約3500円)反(補助金)となっている。

●オランダ③ ワーゲニンゲン大学 バートライク氏によるレクチャー

オランダ唯一の国立大学であり、研究所も併設され、甜菜に関する研究も熱心に取り組んでいる。オランダにおける近年の甜菜作付面積は、10年前に比べ23千ha減少して74千ha。反収は、7・8t/反と、10年前より1・2t/反増加しているが、糖分については(17%)10年間変わりが無い。2007〜2009年にかけて反収が増えたが、EUのルール改正



により作付けが自由化となった事が要因となっている。大学では甜菜のポテンシャルは産糖量2・4t/反と見込んでいたが、品種、気候、水、肥料などや雑草、虫などにより実産糖量が1・3t/反になっており試算。少しでも産糖量を伸ばすため、そのマイナス要因を取り除く研究が行われている。オランダの甜菜作付けは、播種前に砂地は砕土＋スラリー＋化学肥料を行い、粘土質には砕土のみを行い、12畦プランターにて畝間50cm株間18cmを直播にて植え付け。播種後の降雨が少ないことや土質の違いにより表土が硬く

なっており発芽障害が少ないが、表土が硬くなった場合は、表土砕土や再播を行う。株立て本数は、10年前から8000本/反↓8300本/反に変更をしている。栽培で最も注意を払うのは病気であり、特に以下の病気の防除、抵抗品種に力を入れている。①そう根病 ②根腐れ病 ③センチュウ ④褐斑病。品種変更により反収、糖分の増加と防除回数の減少が可能になった。(殺虫剤0回、殺菌剤2回程度)

●ベルギー SESBANDELハーベ社(甜菜種子メーカー)・ホクレンに「パピリカ」「ラテール」を供給

SESBANDELハーベ社は、国際的な種子メーカーSEES(ベルギー)とBANDELハーベ社(オランダ)が合併した会社であり、その後フレルモンデフレ(フランス)の傘下になった。会社は研究・開発部門とマーケティング・セールス部門があり、試験農地を各地に所有し、フランス、イタリア、ウクライナにて種子生産が行われている。年間360種類に及ぶ品種を世界50カ国へ販売し、甜菜生産者・糖業者双方の意見を聞き入れながら年間開発費に1700万ユーロ(23・8億円)

を投じ、新品种の開発を行っている。甜菜種子を専門的に扱うメリットとして他メーカーより研究・開発に特化できるため、甜菜種子世界シェアは作付面積の1/3以上を占めており世界第1位。操業当初は0・2t/反の産糖量だったが、1950年代に単胚種



子となり0・5t/反の産糖量となった。近年は1t/反を超える産糖量となり、今もなお、研究と開発が進められている。温室内の育種については、播種後幼苗時に6℃の冷蔵庫で低温に育て、春から25℃以下の温室内で育て、6月頃花芽が付き始めた頃に雌花へ袋をかぶせ受粉させる。その後、採取した種のサンプルをDNA鑑定し、チェックを行う。加工種子は、ロットごとに保管チェックされ、サンプルを政府へ提出した後、検査され合格したものが各国へ出荷される。このような温室栽培のメリットとして、通常畑で行う育種は2年要するところ、温室栽培では8カ月に短縮できるため、次年度からはクーラーを完備した温室の増設を予定している。

最後に、各視察先で先進技術や異なる農業スタイルに触れ、努力と英知の結集によって各国の農業を支えていると実感しました。今回の研修で得たものを農業関係者として高い意識と志を持ち続け、今後の業務に活かして参ります。このような有意義な研修に参加させていただいた事に感謝申し上げます。報告といたします。

斜里郡3町玉葱青空教室開催

7月18日、普及センター主催により、斜里郡3町合同開催での青空教室を実施。オホーツク網走からも生産者3名に出席をいただき、関係機関を含めて総勢39名の方が

ついては作業効率の遅れや欠株などの要因となることから、更新に対する助言をいただきました。

参加されました。各地区から斜里振興センターに集合し、普及センター・高松支所長の挨拶により開催。北見農試柳田氏からは玉葱育苗用ポットと誤って水稻用ポットを使用しているケースがあるとの指摘から、現物での比較を行い、見た目には大差はないが、根張り状況が格段に異なり、収量や品質に及ぼす影響が大きく、玉葱ポットと比べて10%程度減収する結果も出ている。また、老朽化したポットに

その後、斜里農業研究センターの試験圃場（リン酸資材試験・直播試験など）の視察後、斜里町の石川氏圃場、清里町の二俣氏、菅原氏の品種比較試験圃場、小清水町の苅込氏圃場視察を行い全日程を終了。北見農試柳田氏からの講評では、斜里郡の玉葱栽培は飛躍的に向上しているとの評価をいただきました。



平成25年度

北見管内乳質改善対象
乳質選抜条件大賞受賞



北見管内乳質改善協議会

第6営農集団長嶋裕平さんは平成25年度生乳生産において生乳検査成績平均が生菌数0.1万（町内平均0.3万）、体細胞5.9万（町内平均21.4万）と乳質が非常に高く、衛生的乳質の選抜基準を満たし、北見管内乳質改善対象乳質選抜条件大賞を受賞しました。

（選抜条件）

- 平成25年度乳質成績（平成25年4月～平成26年3月）
- 36旬検査を行った生産者（1カ月3旬検査）
- 36旬検査において生菌数1.4万以下・体細胞20.9万以下

肥料の基礎知識 内部研修会

5月16日、業務課の事業方針でもある職員内部研修の一貫として「信頼される職員」を目指すべく肥料の基礎的な研修会を系統協力のもと開催いたしました。

当日は昨年実施した研修会（ハウス関係）と同様、業務課以外の職員にも呼びかけ、総勢24名で研修を受けました。

研修内容は基礎的な部分を主に、行い、窒素・リン酸・カリの役割と特徴、pHの変化、作物養分相互関係、肥料原料の状況等の説明を受け、有意義な研修となりましたが、まだまだ知識不足であると感じました。

今後このような研修会の場を設けながら、職員の知識向上と組合員に信頼される職員を目指し、継続して行きたいと思えます。



平成26年度JA清里町女性部視察研修

自分たちが作った長芋のセリを体験

去る7月1日～3日にJA清里町女性部（成戸貴子部長）は大阪方面で視察研修を実施した。
（参加者 部員 42名 事務局 1名）

*あべのハルカス

夕食はハルカス内にある『モクモク直営農場レストラン お日さまのえがお』のバイキングをいただいた。このレストランは野菜の種類が豊富でソーセージやパンはその場で作っているところが見られ、出来立てを食べることができると「お子さまを主役として家族で楽しめる」がコンセプトで食育を学ぶことを目的としている。料理にたくさん野菜が使われ、皆さん感心していた。「春つらら」という名前の地ビールも作っており、美味しいと好評だった。レストラン内ではピアノとチェロの生演奏が行われ、子ども向けにアニメの曲や今話題の『アナと雪の女王』の曲も演奏されていた。夕食終了後、展望台へ行き、地上300mから見る大阪の夜景を観覧し、明るい町並みを一望、圧倒される景色だった。

*大果大阪青果株式会社

馬鈴しょ・玉葱・ごぼう・長芋のセリを見学した。清里の長芋のセリを見学し、自分たちが作っている長芋がどのようにセリに出ているのかを真近で見ることができ、終了後は担当の方と座談会を行い、沢山の質問に答えていただき、部員の皆さんにとっても好評で、貴重な体験ができたと言っていた。

*海遊館

海遊館は世界最大級の水族館で620種、30000点の海の生き物たちが実物でしか味わえない命の感動とエンターテイメントを届けるとともに、生命の素晴らしさや尊さ、不思議さを教えてくれる。

太平洋を表現した巨大水槽を中心として14の水槽で環太平洋を再現している。

最初にトンネル型水槽「魚のとりぬけ・アクアゲート」をくぐり、エスカレーターで最上階8階

へ行き、順路に従って各水槽をめくりながら、らせん状にスロープを降りていく。見ている間、ちょうど、あざらしなどの食事の時間で餌をあげているところが見られた。

またユニバーサル・スタジオリゾートにも行き、ハリポッターはグランドオープン前だが、時間限定で入場できた。乗り物ではハリポッターの世界に包まれて思う存分楽しんでいたようだった。

「大阪に行く為に、前日まで農作業を頑張って研修に来て良かった。」との声が多く聞かれた。大阪の野菜をたくさん見て、食べて学び充実した研修となった。



大果大阪青果（株）



長芋のセリ（大果大阪青果）

そば生産組合道内視察研修

7月3日～4日の2日間、そば生産組合（六戸良一組合長）は札幌市への道内視察研修を行った。研修では、清里産牡丹そばを取り扱っている「手打ち蕎麦（こはし）」と清里産麦を取り扱っている横山製粉株式会社を訪問した。



良かった。これを受けて当組合では、そばの適切な時期の刈取りをより意識すべきとの意見が出た。次に訪問した横山製粉株式会社では、出荷された麦が、どのような過程をふまえて小麦粉へと加工されるのかを学んだ。麦が製品として加工されるまで、さまざまな過程と労力がかけられている事を知り、改めて、食品の生産・加工の難しさを目の当たりにした。



清里町のうきょう年金女の会通常総会

清里町のうきょう年金女の会（石川頼明会長）は去る7月3日、緑清荘において第24回通常総会を開き、会員42名が出席しました。25年度事業報告と収支決算、26年度の事業計画について審議され、いずれも原案通り承認されました。引き続き、懇親会が開かれ懇親を深めました。



平成26年度の主な行事
 7月23日 パークゴルフ大会
 8月21日 ゲートボール大会
 平成27年3月25日～27日 温泉保養親睦会

～支部長が変わりました～
 神威支部（新）塚田 義雄さん

会員ご紹介キャンペーン

詳しくはJA金融課まで



ご紹介者に、お礼として素敵なプレゼントをご用意しています。さらに、ご紹介者とお友達に

抽選で**温泉宿泊券**をプレゼントいたします！

★わさび生産組合道外視察研修★

日本一のわさび、栽培にかける情熱

6月19日～21日までの3日間、わさび生産組合(浅野裕之組合長)は岐阜方面の道外視察研修を行った。

研修では、岐阜県大垣市で水わさびを栽培している坂野誠氏を訪ね、日本一と呼ばれる名水わさび



の栽培について学んだ。坂野氏の水わさびは、無農薬で水のみで育てるという独特の栽培スタイルで生育されており、それを可能にしているのは、わさび栽培に相当とされている13℃の湧水と5千万円をかけてわさび用に改造した土壌であった。また、無農薬栽培のため、防除は50℃～60℃のお湯をわさびに散布し、アブラムシ・センチュウ等を駆除しており、わさび



の生育にも好影響を与えると話した。これらの坂野氏独自の栽培スタイルの確立には、多くの年月を費やし、試行錯誤の連続だったと話し、わさび栽培について、「土壌と水さえしっかりしていれば、手間いらずで高収入な作物だが、安定して収穫するためには、試行錯誤を必要とする難しい作物である。」と表現した。最後に、坂野氏は、「生産から加工までを行う6次産業化をすでに実践しており、365日休みは無い」と話し、その言葉からわさび栽培への情熱と日本一のわさび生産者としての覚悟を感じた。

第2回秋まき小麦青空教室

6月2日、4日に今年2回目となる秋まき小麦青空教室を集団ごとに各生産者の圃場で開催し、青空のもと144名の生産者が参加しました。

清里地区普及センターの普及員を講師として招き、止葉期追肥や赤かび病防除等についてお話をさせて頂きました。また、その場で生産者の方々に青空教室圃場の莖数、葉色値を測定してもらい、その数字に基づいて講師から圃場の状況、今後の追肥について説明がありました。



ホクレンくるるの杜inオホーツクフェア



去る7月20日、長いも生産組合（篠田英司組合長）役員3名、事務局1名でホクレンくるるの杜inオホーツクフェアにて今年で2年目となる長芋販売を実施しました。会場では、オホーツク管内の野菜や海鮮、加工品等たくさんのお出展がありました。

本年からの試みで長いも生産組合協力のもと、清里産長芋のPR及び販路拡大を目的としての出展となりました。今回は、1本売り（箱売り（10kg）で販売し、10時からの開催でしたが、順調な売れ行きで、15時までに箱売りで3ケース、1本売りで26ケース分（312本）販売する事ができました。

今回購入して頂いた方からは、「きれいで立派な長芋だねえ」、「清里町にも長芋があるんですね」といった声をたくさんいただき、良いPRになったと思います。また、長いも生産組合の奥さんが考えた長いも料理のレシピ集も大変好評でした。今後このようなイベントへ参加することで清里産長芋を知って頂けるような取り組みが大切だと感じました。

平成26年度第1回 目の廃プラ回収を行いました



例年の廃プラ回収は半日の受け入れでしたが、廃プラ回収への推進と組合員の状況（集団研修等）を考慮し例年より早い7月7日午後からと7月8日午前中の2日に分けて実施致しました。

今回の回収の受け入れ戸数は組合員136戸（昨年135戸）。受け入れ重量が農ビ・農ボリで5万3730kg（昨年5万8530kg）、長芋ネットは4670kg（昨年6570kg）となり、回収した廃プラにつきましては7月12日～13日に美幌三星運輸にて積み込みし、苫小牧清掃社に搬入致しました。

また事前に組合員さんから分別について質問等が多数あり、関心を持って頂きはじめたのではないかと感じました。

次回の回収は11月中旬を予定しておりますので、ご協力を宜しくお願い致します。



家族が認知症になったら

85歳以上の4人に1人が認知症だといわれています。高齢化社会を迎え、誰もが発症する可能性のある身近な病気です。もし家族の誰かが認知症になったら、どのような向き合えばいいのでしょうか。30年以上も認知症患者のいる家族の悩み相談窓口となってきた「認知症の人と家族の会」にお話を聞きました。

単なる物忘れと認知症は違う

年齢を重ねると誰でも、すぐに人の名前を思い出せなかったり、物をどこに置いたか、しまったかを忘れたりするもの。それは加齢による単なる物忘れで、体験した事の一部を忘れても、記憶の帯はつながっていて、ヒントがあれば思い出せるものです。

認知症の場合は、数分前、数日前の出来事を思い出せないとか、言葉がなかなか出てこない、家電製品が上手に使えないなど、体験したこと自体を忘れて、記憶が抜け落ちてしまうのです。

単なる物忘れと認知症はどこが違うのでしょうか。明らかに違うのは、認知症は正常だった脳の働きが徐々に低下する病気だという

ことです。いろいろな病気が原因となっており、症状もさまざまです。病気が進行するにつれ、記憶や判断など脳の機能が低下して、次第に日常生活を送ることが出来なくなります。

認知症というと、家族の顔が分からない、徘徊（はいかい）する、失禁するなどの重い症状ばかり思い浮かべてしまうかもしれませんが、決して重い症状ばかりが認知症とは限りません。日常生活で本人や家族に困ることが増えてきたら、認知症の可能性も考えましょう。

早期発見・早期治療と家族の協力が大切

家庭では、どこまでが単なる物忘れで、どこからが認知症なのか、

なかなか判断がつきにくいものです。本人や家族が「年のせい」だと思ってしまう、日常のささいな変化が認知症のサインだったりすることもあるので、「おかしいな」と思ったら、ためらわずに早めに医師に相談することが大切です。

認知症は、軽度な症状から生活に支障を来す中等度まで約2年で進行するという報告もあります。早く見つけて治療すれば、進行を緩やかにしたり、症状を軽くできる可能性もあるため、その後の日常生活は大きく変わります。

ただ、本人が認知症を認めたくない気持ちがある場合、受診に反発するケースも多く見られます。そこで本人には言わずに、まずは行政の窓口である市区町村の地域包括支援センター、または病院へ

取材協力：公益社団法人 認知症の人と家族の会 東京都支部
TEL. 03-5367-2339
相談窓口 (毎週火・金曜日 10:00 ~ 15:00)

の窓口としてかかりつけの医師に相談しましょう。そこから「物忘れ外来」「認知症外来」など、認知症の診断を行う専門外来のある医療機関を紹介してもらえます。本人が専門の医療機関に行きたがらない場合は、最初は家族だけで訪ねて相談してみるものいいでしょう。受診するときは「早期発見の目安」（認知症の人と家族の会）を基にチェックして、気になることを書き留めておき、普段の本人の様子をしっかりと伝えることです。

認知症と診断されると、家族はつい長い介護生活に不安を覚えませんが、診断された本人が一番戸惑い、不安を募らせて、自分を責めるのです。家族や周囲の人にとって大切なのは、認知症は病気であることを理解すること。そして、本人の気持ちに寄り添って、安心できる環境づくりを心掛けることです。そのためには、介護する人も、心に余裕を持ち、自分のことも大切にしましょう。誰か一人に負担がかからないように、家族がそれぞれの立場で役割分担をして、正しい共通認識を持ち、協力し合うことが重要です。



気軽にご相談を

地域包括支援センター

介護保険法で認められた、全国約4000カ所にある相談センター。市区町村の役所で連絡先をおしえてもらえます。

認知症の人と家族の会

全国46都道府県に支部があり、介護経験を持つ会員が相談を受け付けています。

TEL 0120-294-456

(月～金曜日 10:00～15:00)

<http://www.alzheimer.or.jp/>

認知症 早期発見の目安

いくつか思い当たることがあれば、専門家に相談しましょう。

※認知症の人と家族の会作成

物忘れがひどい

- 電話の相手の名前をすぐに忘れてしまう
- 同じことを何度も言う・聞く・行う
- しまい忘れや置忘れが増え、いつも探し物をしている
- 財布・通帳・衣類など、盗まれたと人を疑う

判断・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- 話しのつじつまが合わない
- テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所が分からない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある

人柄が変わる

- ささいなことで怒るようになった
- 周囲への気遣いがなくなり頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い

- 一人になると怖がったり寂しがったりする
- 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- 下着を替えず、身だしなみに構わなくなった
- 趣味や好きなテレビに興味を示さなくなった
- ふさぎ込み何をするのもおっくうがる、嫌がる

理事会の経過を お知らせ致します



第4回

4月10日

付議事項

次の事項について審議されました。

- 議案第1号 第66回通常総会の集約について
- 議案第2号 理事に対する供給限度額並びに貸越極度額の決定について
- 議案第3号 特定組合員および再建組合員の承認について
- 議案第4号 理事の報酬配分について
- 議案第5号 職員の要員計画について
- 議案第6号 行政庁に提出する業

務報告書について
議案第7号 固定資産の取得について

報告事項

次の事項が報告されました。

- ①平成26年度営農計画付面積集計および過去6力年実績集計について
- ②組合員勘定5力年実績および26年度収支計画集計表について

第5回

5月28日

付議事項

次の事項について審議されました。

- 議案第1号 平成26年度農作物作付面積実測計画について
- 議案第2号 固定資産の取得について
- 議案第3号 平成25年度JA清里町デイスクロージャー誌の発行について
- 議案第4号 女性農業者のJA運営参画促進運動方針の制定について
- 議案第5号 事業継続計画（BCP）の制定について
- 議案第6号 災害対策規程の制定について

議案第7号 反社会的勢力等への対応に係る関連諸規程の改正について
議案第8号 従業員に対する6月期賞与の暫定支給について

協議事項

次の事項が協議されました。

- ①平成26年度役員道内視察研修の実施について

報告事項

次の事項が報告されました。

- ①平成25年産玉葱の本精算について
- ②中斜里区域でん菜振興協議会海外視察研修の参加について
- ③平成26年度固定資産取得および修繕費の価格交渉結果について
- ④JA全国監査機構監査（一般総合監査）の実施について
- ⑤経営定期点検（4月期）の実施結果について
- ⑥オホーツクJA専務・常務会海外視察研修の参加について
- ⑦平成25年度JA共済新契約優績JA表彰視察研修の参加について
- ⑧青年部ソフトボール大会の開催について

第6回

6月21日

監査講評

長谷川代表監事より平成26年度5月末監査講評がありました。

付議事項

次の事項について審議されました。

- 議案第1号 理事との利益相反取引について
- 議案第2号 平成26年度麦作センターの操業計画について
- 議案第3号 平成26年度麦作センターの自主検定員の選任について
- 議案第4号 平成26年度役員道内視察研修の実施について

報告事項

次の事項が報告されました。

- ①平成26年度農作物作付実測の集約について
- ②市町村議会に対する規制改革会議意見書の取り扱いに関する請願の実施について
- ③持続可能な北海道農業の確立に向けたJAグループ北海道の考え
- ④持続可能な酪農経営の確立と酪農生産基盤の強化に係る基本的考え方のJA意見報告について

付議事項
 次の事項について審議されました。
 議案第1号 平成26年度農産物および特用作物等作況調査の実施について
 議案第2号 平成27年度農産物指標面積の設定について

第7回

7月17日

- ⑤ 畑作・青果対策の確立に向けた平成27年度農業予算概算要求に関する組織討議について
- ⑥ コンバイン入魂式の実施について
- ⑦ コンバイン講習会の開催日程について
- ⑧ 組合員の加入・脱退および事業の実施内容の報告について
- ⑨ JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち、全中および農林中金が定める事項の報告について
- ⑩ JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- ⑪ 総体的なリスク管理の状況報告について
- ⑫ 内部監査の実施結果について

- 議案第3号 農林漁業資金の借入および貸付について
 議案第4号 夏季懇談会の開催と懇談事項について
- 協議事項**
 次の事項が協議されました。
 第9期総合5ヶ年計画の素案について
- 報告事項**
 次の事項が報告されました。
 ① 平成26年度産地交付金の活用方法について
 ② 平成26年度麦作センター自主棟定員の選任結果について
 ③ 平成26年度コンバインの配車について
 ④ 寄付金の支出について
 ⑤ 長期共済一斉推進の結果について



組合員状況

(平成26年8月1日現在)

■組合員数		(前回報告より)	
正組合員 (個人)	224名	(1名増)	
〃 (法人)	11法人	(変動なし)	
准組合員 (個人)	1,317名	(3名減)	
〃 (法人)	0法人	(変動なし)	
〃 (団体)	25団体	(変動なし)	
(合計)	1,577		

◆篤志による寄贈
 ありがとうございます

この度、清里町農業・農協の基盤を広い見識と洞察力でしっかりと支えていただいた事はもとより、農業技術・組合員指導にご尽力を賜りました第1営農集団佐野強氏より、後継者育成基金委員会へ篤志により寄贈がありました。

「農業後継者の育成の為に役立ててください」というお心に添えるよう運用基準の範囲内で農業後継者(青年部・女性部)の専門教育や学校・施設への修学に有効に活用させて頂きます。

大学・短大・専門学校生大歓迎 JAグループ職員・社員養成学校

JAカレッジ

- 60名 ●1カ年、全寮制 ●24歳未満
- 大学、短大・専門学校卒(見込)、高校卒(見込) **男女共学** **JA、JA関連会社へ就職**
- 試験日:12月9日・10日・11日 ●願書受付:9月8日~11月10日 ●学校見学もできます

お問い合わせ
資料請求

一般財団法人
北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1
 (JAカレッジ) ☎ 0120-918-417
 JAカレッジ [検索](#)

新聞ができるまでの工程に圧倒！ 釘付けに！



どれみふあ空

6月17日、フレッシュユミズ部（坂野真生子部長）は釧路方面で視察研修を実施した。
（参加者 部員24名 事務局1名）

・どれみふあ空

（鶴居村）

カフェレストランどれみふあ空では地産地消をモットーにしており、庭にはたくさんハーブが植えられている。店の奥さんにハーブの名前や効能など説明を受け、摘み取ったハーブを使ったハーブティーをいただいた。カフェレストランからは庭が眺められ、運が良ければ鶴も遠くから見る事ができる。ハーブティーでほっと癒しの時間を得た。

・道新総合印刷 釧路工場

印刷に使われるのは巻き取り紙で最大で92本保管することができ、色や大きさ、紙質が違うものがあり、全てバーコードによるコンピュータ管理になっている。

釧路工場では釧路・根室地区の記事を印刷しており、オホーツク管内は帯広工場で印刷され運ばれている。

工場内の説明を受け、原稿作成するところから新聞ができるまでのDVDを観賞した。

その後、印刷しているところを見学し、あっという間に新聞が出来上がっていく様子に目を奪われ、感動とともに釘付けになっていた。大きな印刷のズレは機械が認識して調整するが、その後は人の目で写真の色見、細かいズレを確認している。人の目で確認した新聞は全てリサイクルされ、また新聞に生まれ変わる。

出来たばかりの夕刊をいただいたが、まだ軟らかく、しっとりとした感触だった。

帰りには全体で撮った写真が掲載された新聞をいただいた。

自分達が日頃読んでいたことや新聞が帯広で印刷されていたことや新聞ができるまでの工程を真近で見ることにより、新聞に対する意識が変わった、勉強になったと、とて



巻き取り紙最大92本を保管。全てコンピュータで管理されている。（道新総合印刷釧路工場）

も好評で良い研修となった。
2ヶ所の研修先では、活発に質問が飛び交い、どんな事でもわかりやすく説明してくれた担当者にも皆さん感心していた。
12月には料理交流会、1月には冬期学習会・スポーツ交流会を予定しています。フレッシュユミズに入っていない方でも、自己負担となりますが、各行事に参加できますので、気軽に参加してもらえればと思っています。よろしくお願ひします。

廃校になった校舎が 生まれ変わって町を元気に！

去る7月17日、フレッシュユミズ部（坂野真生子部長）は、ほがじゃ工場において学習会、網走ヤングボウルにてスポーツ交流会を行い、部員29名・事務局1名の30名が参加した。

ほがじゃ工場は廃校となった北陽小学校の校舎を譲り受け、小清水北陽工場として生まれ変わった。最後の卒業生は自分達の愛した校舎が工場になることを聞いて悲しくがっかりした様子だったが、校舎を大切に使い町に多くの人が集り、町が元気になるよう、小清水のじゃがいもで出来た美味しいお菓子を作るので協力してほしいと説明した事で納得してもらえたという。店内には子どもたちが描いた沢山の絵が飾られている。

ほがじゃではお菓子の原料に玉葱・でん粉・てんさい糖・ホタテ・イカ・とうがらし等が使用され、全て北海道産の物を使うこだわりを持って製造している。

小清水町と工場についてのVTRを視聴した後、製造過程の説明をしていただいた。



店内には、4月に発売された、ほがじゃのチーズ味が販売されており、他にも本社の福岡県で作られている、ほがじゃのかつお味等も販売されていた。
午後からは網走ヤングボウルにてボーリングを行った。5チームに分かれ、チーム戦で行い、接戦だったが坂野チームが優勝した。

健康百科

睡眠時無呼吸症候群とは

佐久総合病院名誉院長 ● 松島松翠

「睡眠時無呼吸症候群」とは、大きないびきとともに何度も呼吸が止まる病気をいいます。通常、呼吸の止まっている時間は10〜20秒ほどですが、長い場合には1分ほど続くことがあります。その後、大きないびきとともに呼吸が再開しますが、こういうことが一晩のうちは何回も繰り返し起こります。

睡眠中に呼吸が止まる原因は、気道がふさがってしまうことによります。気道がふさがりやすいのは、「肥満」の人です。肥満している人は、そうでない人に比べて「上気道」が狭いのですが、あおむけに寝ると、重力や、筋肉の弛緩によって、上気道がさらに狭まります。そこを空気が通り、摩擦でいびきが生じますが、上気道が完全にふさがるといびきと呼吸が止まります。

無呼吸の間は体が低酸素状態になります。そのたびに脳が防衛的に目覚め、呼吸が再開されます。これを一晩に何度も繰り返します。なので、脳が何度も目覚めてしまい、十分に眠ったつもりでも、実際には深い睡眠が取れていません。そ

のため、昼間、仕事や車の運転中などに強い眠気に襲われることがあります。

睡眠時無呼吸症候群は「大きないびき」を家族から指摘されて受診する人が多いのですが、一人暮らしの人では、いびきをかいても、呼吸が止まっても、自分ではなかなか気づきません。その場合は、「日中の耐えられないほどの眠気」「全身の倦怠感」「寝ている間の呼吸困難感」などがなければ思い返してみてください。こうした症状が現れている場合は、睡眠時無呼吸症候群の可能性があるので、呼吸器内科か耳鼻咽喉科を受診してください。





ベターホームのお料理教室

トウモロコシ

旬ならではの甘味を楽しみましょう！

取れたての甘味たっぷりのトウモロコシを食べられることができるのは、6月～9月の旬ならではの楽しみです。日本での主な産地は北海道、千葉、群馬など。昼夜の温度差があると甘味が増すといわれています。

日本では野菜として食べることがほとんどですが、中南米ではトウモロコシを主食にしている地域もあり、炭水化物を中心にビタミン、ミネラルなどをバランス良く含む食品です。また、動脈硬化を予防する働きのあるリノール酸や、腸内環境を整える食物繊維が多く含まれます。

選ぶときは、皮付きで皮の緑色が濃く、ひげが多くて茶色いものを。また、持ってみてどっしりと重量感のあるものを選

びましょう。実は先端まで詰まっっていて、粒がふっくらつやつやしているのが良いでしょう。粒の色は、品種によって異なり白っぽいものもあります。

鮮度や甘味が落ちやすいので、買ったからできるだけ早く調理しましょう。ゆでる時は水1Lに対して塩大さじ1/2を加え、皮をむいたトウモロコシを水から5～6分ゆでます。電子レンジの場合はラップに包み、3～4分(500W)加熱します。

そのままゆでたり、焼いたりするだけでもおいしいのですが、黄色い粒々を生かして炒め物やサラダ、スープなどの料理に入ると、彩りや食感のアクセントになります。粒を外すときは、トウモロコシを斜めに立てて持ち、包丁で粒をそ

ぎ落とすようにすると、粒がはずしやすくなります。また、豪快にまるごと切って使えるのは生ならではの。料理がぐんと夏らしくなり、ボリュームも増します。

すぐに調理しない場合は、冷凍保存ができます。その際には、粒をはずしてから、冷凍すると味が落ちにくくなります。



RECIPE

トウモロコシと牛肉のピリ辛煮

調理時間

30分

材料 (2人分)

トウモロコシ	小1本 (200g)
パプリカ (赤)	1/2個 (75g)
タマネギ	1/4個 (50g)
牛肉 (焼き肉用)	120g
A	{
塩	少々
酒	小さじ1
サラダ油	大さじ1/2
B	{
みそ	大さじ1・1/2
みりん	大さじ3
ショウガ (みじん切り)	1/2片 (5g)
ニンニク (みじん切り)	小1片
豆板じゃん	小さじ1/4～1/3
しょうゆ	小さじ1
水	100ml

作り方

(1人分 444kcal)

- (1) トウモロコシは皮をむき、軸ごと1.5～2cm厚さの半月切りにします。
- (2) パプリカは一口大に切ります。タマネギは1cm幅のくし形に切ります。
- (3) 肉にAをもみ込み、5分ほど置きます。
- (4) Bは合わせます。
- (5) フライパンで油を熱し、肉を強火で炒めます。色が変わったらパプリカとタマネギを入れ、中火で1分ほど炒めます。
- (6) トウモロコシとB加え、ふたをして弱火で7～8分煮ます。ふたを取り、強火にして、水分がほとんどなくなるまで煮絡めます。



撮影 松島 均